

生魂神供次第記

173

013810-000-3

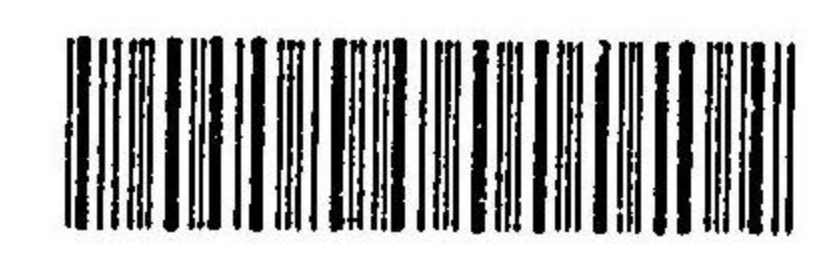
138-173

生魂神供次第記

賀茂 規清/著

M16

ABB-0019



生

138
173

東 京 圖 書 館				
一	七	六	三	和
冊	號	架	函	書
				門
				類

次

完

賀茂規清著

生魂神供次第記

全

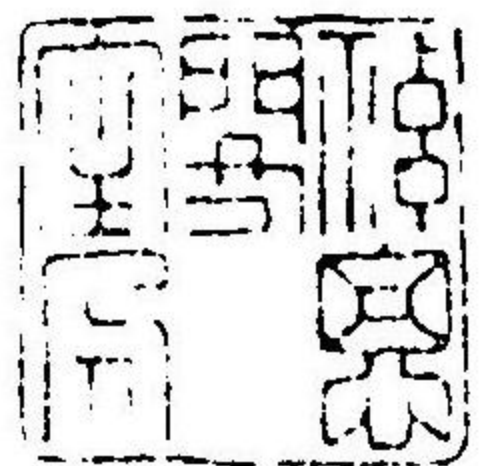
神習教

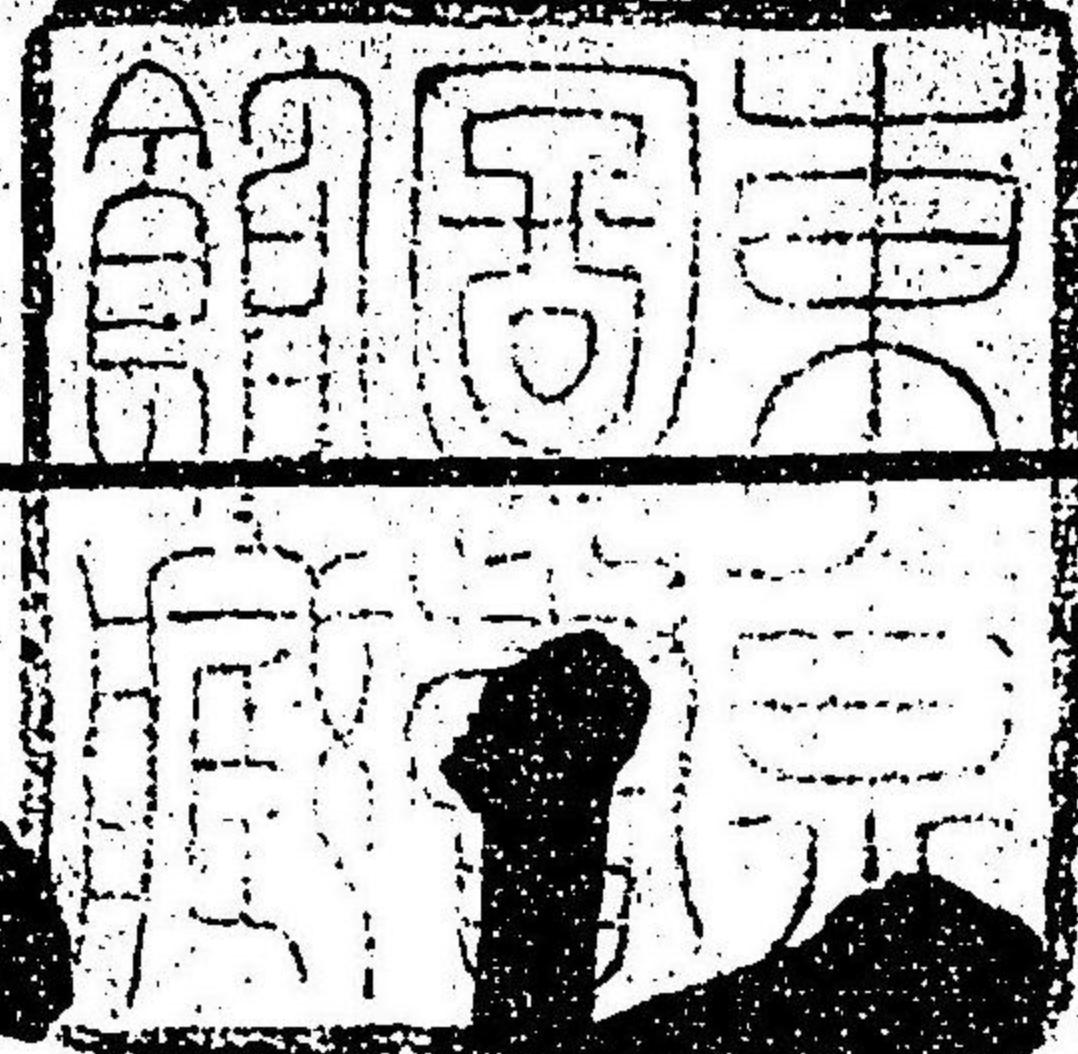
一葉教會藏版

補神



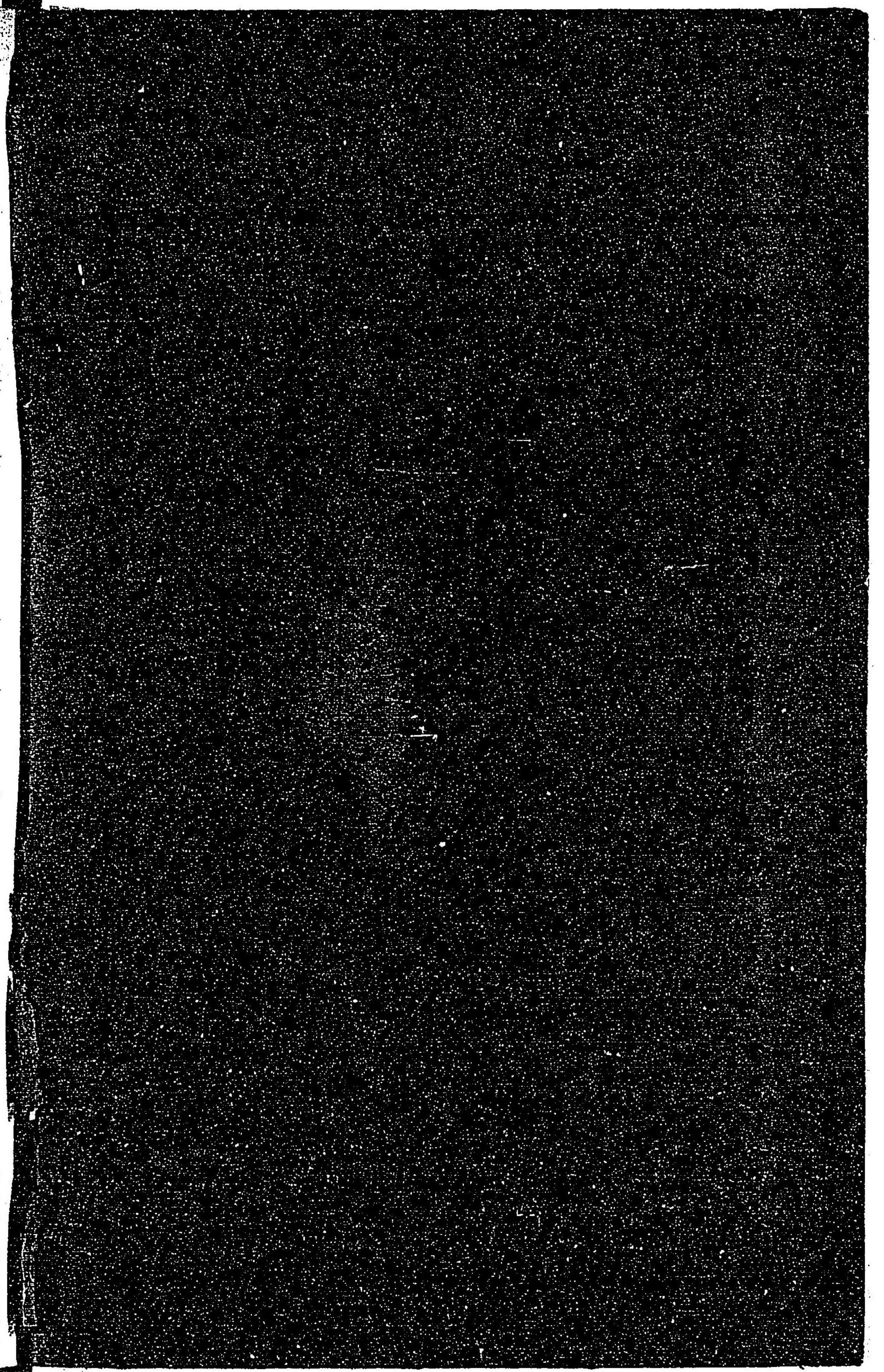
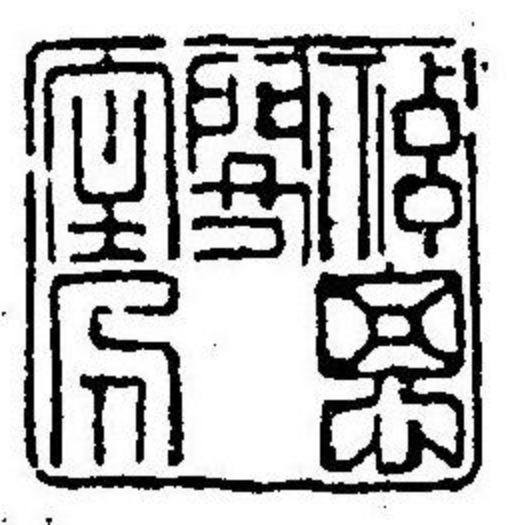
正七位芳却 山康





補神

正位書如公集



余の身は日毎に死出の旅仕度皇が爲ふを生て歸らじ。

夫神ハ人ノ諸願ヲ驗スベキ筈ナルニ我レキカセタリト

云フ人ヲ知ラズ是ヲ以テ深ク其理ヲサトルニ耽ト驗又

證據アリ是非ニ驗セタク思フ人ハ此書ヲ見ルベシ神ハ

八百万ノ神達多ク座テ其御威ハ畏キコト數多アレド夫

ハサテ置テ先ヅ菅原道真公ノ天満宮ト成ラセ給ヒシ御

神徳ノ申サンニ公ハ忠孝ノ道ヲ盡サセ給ヒシ生魂ノ誠

ニ貴キ至リ是ヨリ大ナルハアラジ實ニ感涙肝ニ銘ズル

賀茂規清著

生魂神供次第記

臣の身は日毎に死出の旅仕度皇が爲ふを生て歸らじ。

夫神ハ人ノ諸願ヲ驗スベキ筈ナルニ我レキカセタリト

云フ人ヲ知ラズ是ヲ以テ深ク其理ヲサトルニ耽ト驗又

證據アリ是非ニ驗セタク思フ人ハ此書ヲ見ルベシ神ハ

八百万ノ神達多ク座テ其御威ハ畏キコト數多アレド夫

ハサテ置テ先ヅ菅原道真公ノ天満宮ト成ラセ給ヒシ御

神徳ノ申サンニ公ハ忠孝ノ道ヲ盡サセ給ヒシ生魂ノ誠

ニ貴キ至リ是ヨリ大ナルハアラジ實ニ感涙肝ニ銘ズル

所ナリ。則チ天満宮ノ忠孝ノ誠ヲ盡シ給ヒシ神靈ノ正面
ヘ。又人々ノ忠孝ノ正面ト相向ハバ。則チ感應モアラセ給
フベキナリ。然ルヲ主親夫ヲ尻ニナシ。我身勝手ヲ祈ル時
ハ。天満宮ノ御神靈ノ忠孝ガ尻ニナル故形ハ神前ニ向ヘ
凡心ガ尻向ノ拜禮ユエ。神何ゾ納受シ給ハンヤ。假令形ハ
尻向ナリ凡心ガ忠孝ノ正面ナラバ。神ト同體ニシテ神祇
感應アリ。諸願満足セズト云フ事ナシ。則チ天満宮ノ御辭
ニ曰ク。今日ノ父母ハ伊弉諾伊弉冉ノ兩尊。此身ハ天照大
御神不轉肉身ノ神トオボエテ。朝ナ夕ナニ。父母ヲシテ生
身ノ神々イマソカリケリト拜奉リテ後ニコソ神ニモ願

ヒ奉ラバ。自ラ和光ノ御惠モ明カナラメ。能々父母ノ御恩
ヲオモヒ。孝道ノ志侍ラバ。天地ヲ動ス程ノ感應ナドカナ
カラシ。此心ナクテハ。神ニ祈リ奉ル凡受ケ給ハンヤ。此ハ
天満宮正面ノ御鏡ニシテ。後人ノ魂ヲ移ス所ノ神體是ナ
リ。凡テ上ニ云フ所ハ。天満宮ニ限ルベカラズ。諸ノ神々モ
ミナスノ如シ。古歌ニ
我心鏡ニウツル。モノナラバ。サゾヤ姿ノ見憎カルヲム。
此歌我身ヲフリカヘリミテ得ト思慮アルベシ。然レ凡是
等ノ事胸ニコタヘ又程ノ人ハ。神ノ御見捨ニアヒテ。必ズ
全カラズ。終ニ變事ニカ、リ禍近キニアルベシ。サテ人ニ

運ウントイフ事有リ。此コレハ天道ノ運ヲ元モトトシテ云出シタル義
 ナレバ全ク空言ニハ非ズ。人々定業ノ有ル事ナリ。其中性
 質ツキノ善運ナルモ。人欲ノ爲メニ閉トヂラル、人モマ、有ルナ
 リ。殘コソリヲシキ儀ナリ。譬タトヘバ南向ノ家ハ日當リ濃ケレ。前
 ニ樹木ヲ多ク植ル時ハ。其家ヲ蔭ニシテ家ノ運塞リ惡シ
 ク成ルニ非ズヤ。是ニ於テ。イヤトモ其樹ヲ伐拂ハントス
 ルハ人情ナラズヤ。丁度人ノ運モ其如ク性質ノ南向塞テ。
 生涯ソノミ其身ノ蔭ヲナスモノハ。余ノ儀ニアラズ。胸中ニ惡木
 生ジテ繁ル故ナリ。然レバ其惡木トハ奏神樂ノ記ニ在ル
 如ク。不忠 不孝 不義 不實 不負 不和合 家業

不出精 晨卧 悋氣 嫉妬 憎 恨 誹 羨 強欲
 意智惡 口返答 無理言 陰陽勤 嫁捨 爭 口論
 癩積 嗔 短氣 驕奢 邪淫 大酒 遊藝 自慢 吝
 嗇 抓合 無慈悲 空言 惡巧 陰言 我儘 博奕
 賊心等。其樹木荒増三十八本アリ。此惡木日増年増ニ繁茂
 シテ運ノ蔭ヲナス右ノ如シ。然ルヲ世人此理ヲ知ラズ。唯
 無性ニ神佛ヲ念ジ。開運ヲ祈願スル。正神ノ方ニハ驗タク
 モカ、ル理有リテ成サレ難シ。是ニ因テ。人々開運セズ。何
 年立テモ。困窮難儀ハ通俗一體ニシテ。僉拜ミ損草卧儲ト
 ナリタル。世人ノ間拔顔ハ物々笑止千萬ノ事共ナリ。就テ

ハ神道ノ奥儀ヤキカマ燒鎌ノ敏鎌トカマヲ以テモチ此惡木コノヲ伐リキ拂ハラフノ外ホカ
ハ。開運スルノ術ハアラジ。斯カクノ如クゴトナレバ。中々ナカク是迄コレマデノ通トホ
リノ了簡トテニテハ。迎ムカモ神ヲ驗シスト云フニハ至イタラザルベシ。
是コトニ於テ。神ヲ驗シス法ヲ左ニ傳授スベシ。毎朝ウマ珍ウマシ御食ミケヲ
獻ミジ。毎夕イキミタマニハ生魂イキミタマノ御料ヲ獻ズベシ。サテ珍ウマシ御食ミケトハ。
惜ワシマザル御食ミケト云フ事ニテ。捧サグル心清淨ナルヲ云フ。土器カハラケ
一枚ナカ中コノミニ米ツク三粒ゴマニ鱒ヒキカチ二匹グリミ。勝粟コト三ツ。是コレヲ毎朝獻ズル儀ナリ。
但タシ是コレシキノ事コトハ。サノミ身ノ上ウヘノ痛イタミトモ成ナルベカラザ
レバ。如何イカナル吝嗇イヘノ人ト雖イヘモヲシトハ思オモフマジ。就ツキテハ
是コレヲ獻ズベシ。次ツギニ生魂イキミタマノ御料ゴリツトハ人ノ生イキ膽キモノ事ナリ。サ

レバ其生魂ソノヲ毎夕サグマツ々々捧奉ルト云フハ甚オホク不審ナルベシ。
三千世界タツネヲ尋ヒトノキモテモ。神ハ人膽ヒトノキモニ勝ノサル珍味ノサハアラジトオボ
ス程ノ大切シテノ品モノナリ。貴タテキ品モノヲ銘々所持シテイタシナガラ。是コレ
ヲ奉タテマツラヌト云フハ。イカニモ不フ甲斐ガヒナキ儀ニシテ。人ト生ウマ
レシ其詮ソノナシ。貴賤賢愚ソノヲ云ハズ銘々相應ノ願望ハ有ル
モノナリ。其中ソノ是非イト一ツカニフタツカ成就セザレバ叶カハ又諸
願有ウラミレ凡。皆叶ミナカナハズシテ死シメルハ百人ガ百人ナガラニシテ。
恨ウラミヲ黄泉ノコニ殘スベキハ。差サシ當アタリテ間違マナキ所トコロナリ。誠マコトニカ
ナシキ至イタリニテ。後悔スルモ其甲斐ソノアヒラズ。涙ナミダノ海ニ沈シヅム
ハ眼前ノ義ト云フベシ。此コレハ上カミニ云フ。信心シンジンノ取違トリヨリ斯カク

ノ如ク成リ果ル類能々思ヒ知ラバ早ク其空氣ノ信心ヲ
打捨實道ニ立歸リテ生魂ノ修行有度事急務肝要ノ義ト
思ルサレバ實道生魂ノ修行迎別ニ六カ敷次第ニアラズ。
天照大御神ヲ尊崇シ奉リ天子ヲ日嗣ノ神ト仰ギ奉リテ。
御代ノ極樂ヲ御作り下サレ其御蔭ニテ我人今日極樂ノ
境界ニ何不足ナク暮ラサルハ至ク國恩ノ御慈悲御助
ニ預ル義ニテコソアレ俗人ノ分ハ日蓮親鸞ノ徒ニ助ラ
レタル義ハ曾テ無キナリ彼ノ徒ニ助クアレタリト云テ。
國恩ヲ踏付ニスル者等イカテ念佛題目ヲ口先ニテ唱ヘ
タリ凡幾許ノ利益ヲ稟ンヤ他人ハ是非ニ及バズ我門ニ

入テ實道修行ノ族ハ深ク此理ヲ知ルベシ其祖等ノ教ハ
斯モ有ルベカラザリケンヲ今杜撰ノ僧徒ノ惡キ勸メニ
ヨリテアタラ御寶ヲ狂惑サルハ切々ニガノシ次ニ
主人夫ヲ高皇產靈神トシ兩親ヲ諾冉ノ一尊ト心得ベシ。
則チ愚詠ニ

父母ノ世ニマス限リ子ノ子タル道盡サヌゾ殘多カル
朝ナ夕ナ思ヒ出シテ悲キハ無キ父母ノ惠ミナリケリ
凡テ人々ヲ八百萬神ト思ヒ敬フ心免ノ毛ヲ以テ突タル
程モ私ナケレバ直ニ生魂トナル此生魂ニ於ル姿ニ隔テ
有リ又尊卑ノ差別ハアレ凡心ニハ少シモ隔テ無キヲ高

天原ト云フサレバ。幾重ニモ隔ナキ所ヲ心ノ住居トスベシ。若隔ノ心出タラム時ハ。私ト云フ心ノ我儘ト思ヒ定メテ。其我儘ヲ討殺スヨリ外ニ人道ハアルヲナシ。其我儘我慢サヘ打殺セバ。真ノ仁義禮智信ゾ出現スベキ。今世ニ云仁義禮智信ハ。皆口先ノ活用我儘ノ召遣フ小者ナレバ。要用ニハ立ベカラズ。何分ニモ真心ノ我身ニ立歸リテ。胸中ノ妄念ヲ攻討ベシ。斯ク云フ處實ニ合点セシ人ハ。忽チ惡事災難ノ汚穢ノ地ヲ離レ。直ニ開運ノ門ニ入り。立身ノ高樓ニ昇ル階級ニ進ミ。宿願成就必近キニ在ルベシ。サテ後ニハ一ツ宛善事善行ヲ勉メテ神々ニ備ヘ奉ルベシ。其善

事ノ第一ハ。主親夫。或ハ目上ノ人ノ云ヒツケヲ背カズ。只諾々トイフ返辭ノ清ラカナル言靈ヲ集メテ。寢ル時ノ前ニナリテ。毎夜々々神前ニ向ヒ。備ヘ奉ラバ。其艶ハシキ香リ忽チ高天ノ原ニ薰ジ。八百萬ノ神々御聲ヲ揃ヘテ。アラ珍ラシヤ。近頃絶テ生魂ノ御料ヲ捧ル者ナケレバ。格別ニ珍ラシク思召。其身ハイカホド賤ク。凡係ル貴キ生魂。忠孝ノ生膽ヲ捧ルトハ殊勝ナリト宣ヒテ。赤壁ノ賤ノ伏家ニモ神集ヒ集ヒ給ヒテ。夜ノ守護日ノ守護ニ守リ幸ヘ給ヒテ。片時モ此家ヲ離レ給ハザレバ。惡事災難ノ來ルベキ様ナシ。彼ノ種々ノ穀物。或ハ蜜柑柿ノ類ヒノ備物ニテハ。斯

ル譯ニハ至リ難シ。天地舉テノ美味ノ物ハ忠孝ノ實ノ生
膽ナレバ。是ニ勝レル味ヒ他ニ在ンヤ。人々穀物蜜柑柿等
ノ獻備ハ充分ニスルモ。其身腹一圓ノ驕奢ナレバ。神々ハ
受ケ給ハネバ。却テ勿躰ナシ。猶其驕奢ニ增長スレバ。惡事
災難ノ來ル。日ニ倍々甚シク。終ニ子孫斷絶ニ到ル姿ノ
見苦シキヲ。神々モ悲歎ニ思召給フハ論ヲ俟ズ。仍テ貴賤
ノ分チ無ク。生魂ノ神供ヲ成サレバ。實ニ人ト生レタル
甲斐ナカラシカ。此生魂ヲ獻備シ給ハ。各々ノ諸願筋ニ
ヨリテハ。如何ナル大願モ成就スルハ曾テ疑フ所ニ非ズ。
斯ノ如ク無心ノ神ノ感應ヲ下シ賜フハ。踈略ノ事ニハア

ラザル者ト知ルベシ。何ゾ空氣ノ信心届クベケンヤ。勿論
斷食。灌水ノ行。或ハ千度万度ノ祓。及ビ讀經等ノ功德。遠路
神拜。且登山ノ勞。續テ通夜。念珠ノ勤モ。中々並々ノ義ニハ
非ルベシ。然レ。此ハ誰ニモ爲シテ爲セザル義ニハアラ
ズ。此生魂ノ修行ハ。彼ト引カヘ。聖徳ノ行ヒユエ。高キ事富
士淺閑ノ山ノ及ブ所ニハ非ズ。深キ事。千尋ノ海モ猶深シ
トスベカラズ。貴キ忠孝ヲ盡ス義ニテ。格別身心ヲ勞シ遠
國ヘ奔走スル程ノ草卧業ニモアラザレバ。是程勉メ易キ
モノハアラザルベキニ。是程勉メ難キハ非ルニヤ。古ヨリ
比行ヒヲ遂ゲタル人至テ稀ナリ。其ハ如何ト云フニ。全ク

己ノ我慢ノ智ヲ捨ザル故ニシテ。余ノ義ニハ非ズ。此智ヲ
捨テ忠孝仁義ノ智ノ心ノ儘ニ。我身ヲ任セバ。主親夫ノ間
ニ隔テナシ。其隔ノ無キ所へ至ル學問ノ道ニシテ。外ニ行
フベキ道ハ更ニナキナリ。サレバ神ト隔ナキ所ノ玄妙ノ
赤心ヲ自得セバ。神ヨリハ賢人ト看行セバ。人ノ目ヨリハ。
愚ニ見ユル様ナレ。心ノ勞ハ更ニナシ。花ヲ見レバ。花。月
ヲ見レバ。月。此外都テ向フ所ノ物々皆我心トナリテ。一身
生死ノ堺。神壽百億万歳。突通シノ境界トナリテ。人道ノ滿
足スル所ナリ。是レ勉メテ至ル修行ノ目當ナリ。
皆人ノ笑ハ。笑ハ。我ハ。惟。幼心ヲ慕フノミナリ。ト云フ

歌ノ心持ニナリテ。先ヅ毎朝ノ御食ヲ獻ズル事。上ニ云フ
所ノ如クスベシ。次ニ今宵獻ズル生魂ハ。何ヲ捧ント思慮
スル事。譬へハ網ヲ張テ魚鳥ノ獲物ヲナスガ如ク。銘々心
ノ網ヲ張テ善事ヲ待ツ所ニ。主親夫ノ御無理ガ罹ラバ勿
論。其外見ズ知ラズノ人ノ無理事ニテモ。是ハ能キ善事ノ
獲物ノ罹リタルナリト思ハ。腹ノ立ツ事ハ非ジ。其堪忍
ノ生魂ヲ。今宵ノ供物ニスベシト樂ミ思フベシ。或ハ往來
ニ高石ナド在ルヲ見タランニハ。老人小兒殊ニハ盲人ノ
爲ト心得テ取除クモ一ツノ生膽。又難澁ノ人ヲ見テ。聊志
ヲ運ブモ同斷ナル一ツノ生膽ナリ。是等ノ小事迄モ。一々

心ニ録シ生魂ニ差上ベシ。猶甚シキ事ナガラ。若奉公大儀
ト思フ心出タラム時ハ。直ニ取直シ生魂トナシ。心ヨク勤
ムベシ。夫奉公ニモ身分ノ高下有テ一様ニハ述ガタシト
雖モ。大ハ大ノ勤方ニ生魂ト成ル事數多有ルベシ。小ノ勤
方ハ。譬バ下女下男ナラバ。米一粒薪一本タリ。主ノ物ヲ
麤末ニナラヌ様心懸ルコソ。即チ生魂ナレ。餘ハ夫々工夫
ノ生魂有ルベケレバ。一々述立ルニ遑アラズ。凡テ毎夜々
々寢ル前ニ進獻スル事上件々ニ云フ所ノ如シ。抑生魂ト
ハ。天之御中主神。皇產靈ノ兩神。國常立尊ノ注。萍シ給フ生
魂ニシテ。神代ヨリ人皇十代崇神天皇マデ。此修法ヲ以テ

病氣其外祈願セシ古法ナリ。爰ニ通俗ノ戒修行。且念佛。題
目ノ功德等ハ。定テ廣大ナル儀ニモ有ルベシ。然レド前條
ニ云ヘル如ク。胸中ノ惡木ヲ其儘置キテ。口先バカリニテ
諸願満足極樂往生等ノ儀ハ。窮メテ覺束ナシ。然ルニ此徒
ハ。才善尺魔トナリテ種々様々ニ申掠ル者ナリ。我門中ニ
於テハ。其善惡ヲ爭フマジキ事肝要ナリ。日本ノ人ハ日本
ノ神々及ビ遠祖靈ノ御後ニ隨フヲ忠孝ノ大道ト云ベシ。
其大道ヲ歩ミ行クニ何ノ憚ル所有ルベシヤ。又無心ノ神
ノ口先バカリニテ感應マシマス者ナラバ。世間ニ難滿者
モ災難ヲ受ル者モ有ルベカラズ。其口先バカリニテハ。神

神ノ納受無キガ故ニ。皆人アキレ顔ニ成リテ神ハ無キ者
カト疑フニ至ル。淺閑シキナラズヤ。實ニカバカリノ事
ニ心附カザルハ如何ニ道理ニ闇ケレバトテ。大凡程コソ
有ルベケレ。何分ニモ其先入ヲ取除キ佗ヨリ後指ヲサ、
レザルヤウ專一ニ心懸タキナリ。其ハ免マレ何卒一人
モ多ク世ニ開運ノ人在テ。兩親ニ安堵ヲナサセ。主君ヘノ
勤メヲ怠ラス。家業ヲ勵ミ。子孫長久ノ基ヲ起サン人々ノ
世ニ殖エ繁ラン事ヲ思ヒテ。本教ヲ世ニ示ストハセシ
ナリ。本教ノ學風ハ只管忠孝善事ノ一筋道ニシテ。諸神ノ
感應ヲ得テ。開運立身ヲナス行法ナレバ。戒修行。斷食。灌水。

讀經等ノ修法ハ曾テ勸メズ。唯主親夫ノ召サル時。返答
ノ美ハシキ諾ノ一言ヲ以テ。千万度ノ戒。百万遍ノ念佛。卷
數多ク讀ム經文ヨリモ功德多クシテ。大千世界ニ響キ渡
ル美妙ノ聲ニテ。諸神感應有ルモ宜ナリト。誰ニテモ諾ハ
ル、所ヲ勸ル學風ナリ。此ハ和州葛城山ニ坐ス一言主ノ
一言ノ御神躰ナレバ。如何ニ尊キ御事ナラズヤ。爰ヲ放レ
テ人道ハアラジ。又神祇ノ感應モアラジ。兔ニ角ニ我慢ノ
角ヲ折テ。只一向ニ葛城ノ神ヲ仰グベシ。尊ムベシ。次ニ人
人ノ守リ本尊ハ。觀音。勢至ニ非ズ。天之御中主神。高皇產靈
神。神皇產靈神。天照大神。伊弉諾尊。伊弉冉尊。皇御孫尊。代々

ノ皇帝尊ヲ始メ奉リ。次ニ人々五代十代先ノ先祖ハ知レ
凡。二十代五十代ノ祖先ヲ知ラサレバ。無縁ニシテ祭ラザ
ルハ。恐入タルコトナリ。サレド又忌日モ知レザレバ。爲ン方
無シ。諾冉ニ尊ハ。父母ノ其父母ニシテ。神代ヨリスノ如ク
ナレバ。遠津祖生親及ビ代々ノ親族ノ祖靈神ヲ奉齋シテ。
太原ノ尊キ恩頼ヲ蒙ル事ノ由ヲ思ヒ。皇國ノ人々ハ。即チ
神孫ニ相違ナシト確定シテ。朝ナタナノ神并ニハ。必忠孝
ノ道ヲ盡サン事ヲコソ祈ルベケレ。

明治十六年歲次癸未冬十一月 内藤存守校書畢

明治十六年十二月七日御届
同年同月十八日出版

定價拾五錢

訂正

西山真太郎

全

中西吉信

出版人

立川小兵衛

東京深川東森下町十六番地

138
173

138
173

